

飛躍

HIYAKU

第241号



東海大学附属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2006年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

2006年度本校 推薦入試実施 卒業記念品を寄贈していただく ヨーロッパ研修旅行 無事終了



推薦入試の作文試験が終わってほっと一息



推薦入試の面接試験。思わず緊張



卒業記念 プロジェクター



卒業記念 食堂放送設備



ヨーロッパ研修旅行、ノートルダム大聖堂をバックに(フランス)

第25回 付属高校生のための ヨーロッパ研修旅行

本校の生徒11名を含む総勢36名が昨年12月18日、デンマークに向けて出発、同月28日に無事帰国いたしました。日本との文化や社会制度の違いなどを感じ、また歴史に登場する建造物などを目の当たりにして歴史への憧憬を深めたことと思います。



モーツァルトの生家(ザルツブルク)

デンマークの魅力



伊藤 真憂

2年12組 渋谷区立代々木中学校出身

ヨーロッパ4カ国を旅行して、私にとって一番の収穫は人々の生活に触れることができたことです。私がこの研修旅行に申し込んだ理由は、本場ヨーロッパのクリスマスを味わってみたかったことと、映画サウンド・オブ・ミュージックの美しい町並みをこの目で見たかったからです。

街の通りはクリスマスのイルミネーションで美しく飾られており、お城や絵画など、どれも心に残るものでした。しかし、私が最も感銘を受けたのは「デンマーク」という国です。日本との社会制度の違いや国民一人ひとりが温暖化対策に取り組む姿勢など、デンマークの人々の良さを肌で感じました。

特に印象に残ったのはデンマークのクリスチャンボー城、現在は国会議事堂として使われている建物です。そこには高い税に苦しむ国民の姿を象徴する4体の像が立っていました。それぞれ頭を抱え、耳を覆い、おなかを押さえ、歯に手をあて、

税の高さを嘆いています。国民の本音を表現する像が国会議事堂の前に飾られるなんて日本では考えられません。この像たちはデンマークの国民と議会との信頼関係を象徴しているのだと思いました。

また、デンマークでは子供を育てやすい社会環境やバリアフリーの充実、環境問題への取り組みなど日本よりも進んでいる面をたくさん見ることができました。例えば、朝、町の様子を見てみると、多くの人が通勤に自転車を使って二酸化炭素の排出を避けています。またその中には、子供を自転車の前に着けた大きなカートに乗せて、保育園に送るお父さんの姿もありました。デンマークでは両親が共に働き、共に育児をすることが当たり前となっているので、父親が子供を送るのは珍しいことではありません。しかしこの光景が自分の目に留まったということは、日本ではまだ父親の子育てが浸透していないのだと思いました。

デンマークでは高い税金を払う代わりに、たくさんの保障が受けられます。そして子供や障害者、老人に対する理解もあります。私はいろいろな制度が整っていることも素晴らしいと思いますが、それ以上に国民全体が自分たちで国を作っていくという意識を持ち、思いやりを持って生活しているデンマークの人々に魅力を感じました。



コペンハーゲンのレストランでの夕食



クリスマスのイルミネーションに輝くシャンゼリゼ通りと凱旋門

高校現代文明論・知的財産教育

11月8日、高校現代文明論の授業の一環として、1年生がポーランドの科学者フィリペック博士の講演を聞きました。また11月17日には、2、3年生が知的財産特別授業で弁理士の羽鳥巨先生の発明者の権利を守る特許についてのセミナーが行われました。このセミナーの中で、本校演劇部が「おにぎりパックの特許出願と特許侵害」を熱演しました。



フィリペック博士講演レポート

佐々木 春奈

1年9組 新宿区立落合中学校出身

私にとって、先生のお話のどれも興味深かったのですが、その中でも特にキュリー夫人についてのお話が、一番印象的でした。キュリー夫人については、私は名前以外何も知らなかったのです。しかし、今日の講演でたくさんを知ることが出来ました。なかでも、当時女性が大学に入学することを許されていなかった為に、男装をしてまでも入学し、大学に通っていたというお話に、とても驚きました。途中でそのことがばれてしまい、卒業出来なかったものの、そのような行為は、当時でも現在でも勇気のいることであり、とて

も普通の人には真似することのできないことだっただろうと思います。そのようなことを成し遂げたキュリー夫人に、一種の感動に近いものを覚えました。また、何年か経過したのち、キュリー夫人は結婚し、子供をもうけました。研究を続け、夫婦でノーベル賞を受賞、夫の死後に再度受賞。娘も受賞。家族で合計4回ノーベル賞を受賞するという、偉業を成し遂げました。夫と共にラジウムを研究し、ウラン鉱からラジウムやポロニウムを発見し、次いで金属ラジウムの分離に成功しました。それらの研究は、今日にも役立てられているだろうと思います。私は、本当に尊敬すべき人というのは、キュリー夫人のような自分自身に忠実で、自分の考えたことや思ったことを、実行に移せる人なのではないかと思いました。



知的財産講演(知的財産特別授業)を聴いて 特許はお互いの権利を守る

大津 広充

3年11組 品川区立八潮中学校出身

特許はたくさん人間がいる現代では、お互いの権利を守るために必要不可欠なものだと思います。だから特許を得るのに時間が長くかかってしまうのは仕方ないことです。しかし、できることならもっと早く特許を得ることができればいいと思います。

また、特許を得るときに様々な細かい決まりがあるのに驚きました。新規性や進歩性などオリジナリティを求め、寄せ集めなどでは特許を得られないというのは意外で、厳しい規則だと思いました。一方、ついすっかり自分の発想を自慢したくて、公の場、テレビや雑誌、新聞などで話してしまう。そうするとそれだけで特許を得られなくなってしまうのが、発明者からしてみればなんとも残酷です。自分も発明する側になることがあれば、気をつけなければならないと思いました。

最後に、今日の講演で他人の権利を侵害しないよう

にするには、非常に困難であり、油断できないものであると感じました。特許を得ているからと安心しきっていると、今回の劇のように思わぬところで足元をすくわれることがあります。油断は絶対にできないし、多くの情報を常に仕入れることと、弁理士の先生の意見を常に聞くということが重要なことと思いました。



特許セミナーで熱演する本校演劇部

SSH活動報告

12月17日、「リベラルサイエンスⅡ」の授業で1年SSHクラスが川口市立科学館を見学しました。この科学館は、40種類以上の科学に関する実験道具が展示されており、それを自由を使用して現象を確認するというスタイルです。展示物に説明書きがなく、インストラクターの指示のもとに行うという参加型になっています。午前中、生徒たちは個人でいくつかの実験を行い、午後はプラネタリウムを見学しました。

見えない力、ネオジム磁石

則竹 わかば

1年10組 大田区立大森第四中学校出身

科学館にあった2つの銀色の円柱、その中には拳ほどの大きさのネオジム磁石が入っていました。今回私が最も興味をもった実験は、この磁石の実験でした。それは、銅板を使用したものとパチンコ玉の大きさのネオジム磁石を使用したものでした。まず、銅板を使用した実験では、銅板をネオジム磁石の上で速く揺ると、渦電流により実際にはないのに、まるでお菓子のグミのようなものが、敷いてあるような感覚がありました。小さな磁石を使った実験は、磁石を銅の管の中に入れて、不思議なくらいにゆっくりと降りていきました。これも渦電流によるものでした。この磁石の力の秘密は、ネオジムという元素の3番目の殻あたりの電子のスピンの関係しているそうです。これを応用してすぐに止まるブレーキなどの開発がされているそうです。高度な内容でしたが面白い実験でした。



渦電流を体験中

真空の不思議

細谷 友輝

1年10組 品川区立荏原第一中学校出身

科学館で、真空の実験を見せていただきました。実験の内容は、普通の箱に入れた結んだ風船、ブザー、扇風機、水などがその箱を真空の状態にしていくとどうなるかという内容でした。実験は結果がすぐに出て分かりやすいものでした。しかも予想以上に大きな変化を見ることができました。特に水が2、3秒で一気に氷になったときはとても驚きました。そもそも真空というのは何も存在しない空間のことで、地球上はおろか宇宙でもその状態を作るのは難しいと言われています。普通に地球で暮らしている私たちは特に周りから力を加えられてるなどと意識もしないし、考えもしません。しかし、空気が無くなると今の環境とまったく異なってしまいます。もし突然空気が無くなったら、もちろん動物も植物も死滅してしまうでしょう。この体験を通して私はこの地球環境があるのも様々なもののバランスがとても重要なことだということを感じました。



真空実験を体験している様子

気づかなかった日常の科学

岩堀 加奈

1年10組 練馬区立開進第一中学校出身

普段、何気なく見たり聞いたり体験していることでも、実際には、その仕組みが理解できていないことがあります。今回、いつもなら見過ごしてしまう身近な事を科学的に理解できたような気がします。

数ある展示物の中で私は「波」について先ず興味を持ちました。波は風の力によってできます。波を見ていると水がうねりを帯びて流れているように思いますが、実際は波の形だけが伝わっていくので、その水が流されている訳ではないということを知りました。他にも数少ない太陽観測の望遠鏡もありました。実際に太陽を見ると、太陽のみかけの運動から、地球の自転が意外に速いことに驚きました。午後はプラネタリウムを見学しました。いろいろな星を見ながら流星群や星などのお話を聞きました。今回、科学館でいろいろな体験をしたことによって、これから星空を見ても、太陽や波を見ても、今までとは違った目でとらえることができると思いました。



太陽天文台の見学

進学相談会開催

1月14日(土)、生徒・保護者を対象とした「学校法人東海大学三大学三短大進学相談会」が実施されました。300名を超える保護者の参加もあり、各会場での教室も大学の先生の説明に真剣に耳を傾け、熱心にメモを取る姿が見られました。この進学相談会と3月の「付属高校生のためのオープンキャンパス」が、志望する学部学科の決定につながることを期待しています。



進路決定への大きな一歩

平野 輝実
2年6組 大田区立羽田中学校出身

私は健康科学部と教養学部の説明を受けました。もともと福祉関係のことに興味があったので、進路は「福祉関係のことが学べる学部」と、漠然と考えていました。しかし、具体的に福祉のどんなことを学びたいのかということは、全く考えていませんでした。2年生になって自分の進路について真剣に考える機会が多くなっていく度に、学級担任の先生や進路指導の先生に相談してきました。

健康科学部では、看護学科と社会福祉学科が同一

の校舎で学ぶことで、医療と福祉の連携を図っているということでした。また社会福祉学科には、自分をいかに表現するかという授業があると聞き、この授業にも非常に興味を持ちました。次の、教養学部の先生からは「福祉と環境はただお金を掛けるだけではなく、それに合った経済を学び、長続きさせることが重要だ」というお話も聞きました。資料を読むだけでは分からなかったことが、よく分かりました。

まだ断定はできませんが、この進学相談会で自分の学びたいことや進みたい道が見えてきたような気がします。これから期末試験、学園基礎学力定着度試験など高い壁が待っています。着実に学力をつけて、自分の夢を今より確実なものにしていきたいと思っています。

第4回 受験生・保護者 学校説明見学会実施



12月4日、受験生・保護者対象の今年度最後の説明会を実施し、約1,000名の方々をお迎えいたしました。今年度4回行った説明会は、いずれの回もたくさんの方々をお迎えでき、本校に対する関心の高さを感じることができました。今回もまた、アリーナでの説明会は、全国大会金賞の吹奏楽部の演奏に始まりました。なめらかな音、迫力に盛んな拍手をいただきました。そして校長の挨拶、各分野で活躍する生徒の活動報告、吹奏楽部部員による制服紹介などが続きました。発表してくれた相馬里美さん(3年4組)、太田麻友さん(3年5組)、田中千恵さん(3年6組)、高谷謙斗君(3年9組) 興安一誠君(1年3組) ありがとう。また演奏や制服紹介、校内見学のお手伝いをしてくれた吹奏楽部の皆さんありがとう。多くの受験生・保護者の方々から、本校生徒の礼儀の良さや活躍ぶりに感心したと感想をいただきました。

活躍

する卒業生

Active Graduates

1988年卒
各務 立基
(本名：各務 理樹)
花組芝居
俳優

「希望を星につないで活躍する先輩」今月は、俳優の各務(かがみ)立基(りき)さんを紹介합니다。人生の転機は、どこかで誰にもあるはずでず。出会いとなるそのチャンスをしっかりと自分が掴むか、それとも気が付かないで通り過ぎてしまうかで、人生が違ふものになるやもしれません。各務さんは3年生のとき何気なく出会った演劇に、大きく夢をかけたのです。演劇学校での勉強は、それはこれまでの生半可な高校生活とは違い、血みどろの努力。そして夢はまだまだ広がるようです。

高輪台高校の皆さん初めまして。平成元年あたりに卒業した俳優の各務立基(かがみりき)です。舞台、演劇を中心に活動しています。

皆さん、演劇といっても多分ほとんど知らないですよ。高校生の頃の私もほとんど知りませんでした。当時高輪台は男子校で、演劇部はあったものの、格好悪くって見向きもしなかったし、演劇自体に全く興味がありませんでした。

その頃の私は遊びに夢中。授業が終わるとサッサと家に帰って自由奔放に遊び回ってました。女の子にモテタイ一心で。けれどほとんどモテナカッタ…。ごく普通の高校生。

そんな時、ある先生の友人に俳優がいて、たまたま舞台を観に行きました。

へ～こんな世界もあるんだな。色んな職業が演じられて、飽きっぽい自分にちょうどいい。モテソウだし。そんな軽い気持ちで、演劇学校へ。

それが俳優としてのスタートでした。高校の時よりも頑張って卒業。名門劇団俳優座へ入団。でもここからが厳しかった。意識もテクニックもプロと学生は大きく違います。それこそモデル人ばかり。モデル人というのは魅力のある人間の事、その魅力は努力しなければ身に付かないと痛感しました。以来必死にやっています。しかしまだまだこの仕事、知らない事や、できない事が出てきます。続ける限り、ずっと努力しなければなりません。しんどいです。でも必ず報われます。

8年間俳優座に所属後、人気劇団花組芝居に移籍。最近は大手の舞台にも呼ばれるようになりました。いや～卒業して15年以上か。よくうだうだ悩み、甘えていたな～。そんな高校時代があったからこそ、今の自分があるのかも知れないですね。



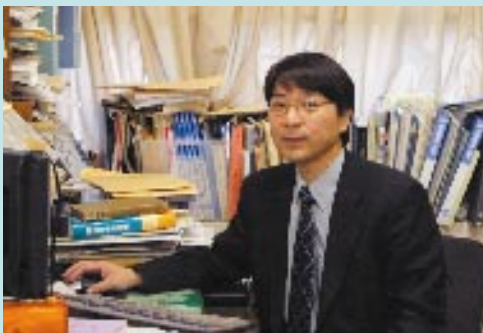
公演タイトル「ゴクネコ ～mad Cat's panic～」を演じる各務さん(撮影:宮内 勝)

高輪短大 INFORMATION

共鳴とコヒーレンス

福崎 稔

情報ネットワーク学科教授



今回は「原子も人の世界も変わらない」というお話をしてみたいと思います。そのためにもまず科学分析の方法について少し触れておきます。その方法にはいろいろありますが、測定したいものに、光や電磁波の形でエネルギーを

吸収させて、そこから戻ってくるエネルギーの変化を測ることで性質を調べるのがほとんどです。中でも核磁気共鳴法は、原子核に電磁波をあてる測定法で、物理・化学・医療の分野で広く活用されています。しかし、原子はどんなエネルギーを与えても共鳴してくれるわけではありません。それぞれ性質にあったエネルギーしか吸収しません。共感できるものとは反応しないというわけです。

そして共鳴すると、たくさんの原子は一丸となって行動します。こういった状態をコヒーレンス状態といいます。私たちも、例えば文化祭など、共感することに一丸となって行動することがありますよね。短期大学部では、創造力セミナーという授業がありますが、ここでは少人数の学生と教員が、学ぶ目的、人生の目標など話し合い、互いのエネルギーを吸収しあって、みんなで学び合い共感することで一丸となる取り組みを行っています。

2005年度卒業記念品を寄贈していただきました

今年度も、卒業記念品を繰り上げて寄贈していただきました。

- 1 食堂放送設備
- 2 食堂スクリーン・ピクチャーレール
- 3 放送室放送機器・アリーナ放送機器
- 4 プロジェクター
- 5 卒業CDアルバム作成用機器一式

ありがとうございます。すでに3年生が卒業アルバム作成のために利用させていただいております。

右の写真のほか、表紙にも写真が掲載されています。プロジェクターは授業で大いに活用しております。ありがとうございました。



放送室放送設備・アリーナ放送機器

食堂スクリーン・ピクチャーレール

食堂でのクラス会、ご苦労様会など映像を見ながら楽しめます。



卒業CDアルバム作成用機器一式

高校3年間の思い出をCDアルバムに

部・同好会活動紹介

文芸研究同好会

顧問 見村敏郎・島貫百合子 部員数 6名

地道な活動

諸隈 良哉

2年12組 川崎市立塚越中学校出身

僕たち文芸研究同好会は、毎週月～金曜日、5階分級教室で活動しています。部員はわずか6名ですが、とても和気藹々と仲良くやっています。個人的にはかなり精力的に活動しているつもりですが、実際に部活をやっているところを目撃されることはあまりないと思います。そこで今回は皆さんに、文芸同好会が今年度どんな活動を行っていたのかを紹介したいと思います。

まず4月には、学園オリンピック国語部門の一次審査に提出する小説、エッセイ、詩などの作品を各々で書き、更によりよい作品に仕上げるために合評会も行いました。実際に部員1名は二次審査に進むことができました。

夏休みには東京都内各地にある、石川啄木の歌碑を巡る文学散歩を行いました。炎天下の中、上野、本郷などを巡検し、今年度の建学祭で石川啄木の研究発表を行いました。その上、建学祭では自分たちの作品を集めた文集「僕たちの文集」第3号も発行しました。文集は、3月にもまた発行する予定です。

このように、僕たち文芸研究同好会は目立たないところで精一杯活動しています。



お知らせ

希望を星につないで 健闘を祈る!!

全国高等学校ゴルフ選手権春季大会 3月27～29日
 場所 滋賀県大津市瀬田ゴルフコース
 秋元由加さん(2年4組) 2年連続出場

第41回 関東高等学校スキー大会 1月24～26日
 場所 群馬県片品村尾瀬戸倉スキー場
 提箸逸人君(3年9組)・鈴木孝宜君(3年9組) が出場しました。

第61回 冬季国民体育大会(苫小牧) 1月28～29日
 ショートトラック
 戸倉翔一君(3年11組) 東京都代表 インターハイに引き続きショートトラックで国体に出場しました。
 (結果は3月号でお知らせします。)

訂正とお詫び 1月号5頁「活躍する卒業生」の小島圭市さんのお名前が間違っておりました。
 訂正しお詫び申し上げます。

行事予定

February 2月

- 1日(水) 朝礼
- 2日(木) 学年集会(2年)
- 3日(金) 大学入試説明会(河合塾)
- 4日(土) 一日看護体験、制服採寸・教材販売(新1年推薦)
- 6日(月) 校医相談日(13:00～16:00)
- 8日(水) 金曜日の授業、専門医によるカウンセリング
- 10日(金) **本校一般入試(生徒自宅学習日)**
- 11日(土) **建国記念の日**
- 12日(日) **本校一般入試合否発表**
- 13日(月) **本校一般入試手続**(平常授業)
- 16日(木) 生徒による授業評価アンケート(1・2年)
- 17日(金) **基礎学力判定テスト(5教科、1・2年)**
- 18日(土) SSH報告会
- 24日(金) 登校日(3年)
- 27日(月) **3年生を送る会、高輪会入会式(3年)**
- 28日(火) **期末試験(～3月3日、1・2年)**

March 3月

- 1日(水) **期末試験(～3日、1・2年)**
- 4日(土) **第57回卒業証書授与式(10:00～)**
- 6日(月) 採点日(**生徒自宅学習日**)
- 7日(火) 答案返却、教科書販売(新3年)
- 10日(金) **修了式、離任式**
教科書販売(新2年)
- 11日(土) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(2年)
- 19日(日) 関東近県SSH合同発表会
- 21日(火) **春分の日**
- 22日(水) 基礎学力判定テスト結果補習(～28日、1・2年)
数学(22日) 理科(23日) 地歴公民(24日)
英語(27日) 国語(28日)
- 23日(木) クラス分けテスト(新1年)
- 25日(土) 後援会委員総会
- 28日(火) 知的財産教育国際シンポジウム

放課後の生徒たち



編集後記

昨年の今時のことである。泉岳寺に行く道で、前を歩く男性が空き缶や空の菓子袋などを拾って行く。今時奇特な人がいるものだ、感心して通り過ぎようとしたら、その人は昨年3月で定年退職された同僚のA先生であった。驚いた。感謝の言葉などかける人はいない。それなのに良くできますね、と浅はかな言葉をかけた。すると、即座に、「天は見てる」と満面の笑みで言われた。私は恥じ入るのみであった。高潔な先生である。誰の為でもない自ら善根を積む行為が善であると恩師に教えられたと言う。恩師とは学問を教えるだけではなく、生き方を示すのだと胸に甚く響いた。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>